

標準委員会企画セッション

リスク情報活用にかかる標準整備への 研究成果の活用

日本原子力研究開発機構
安全研究・防災支援部門リスク情報活用推進室
高田毅士

リスク情報活用にかかる標準類整備への意見

□議論の前提として

標準整備への研究成果の活用 ⇒ 定期的実施すべき(最新知見の反映)

□議論したいのは、(標準利用側からの視点)

標準がどのように使われているか？ ⇒ 利活用の現状把握

どのように使ってもらいたいのか？ ⇒ 学会の戦略と誘導、標準利用への期待

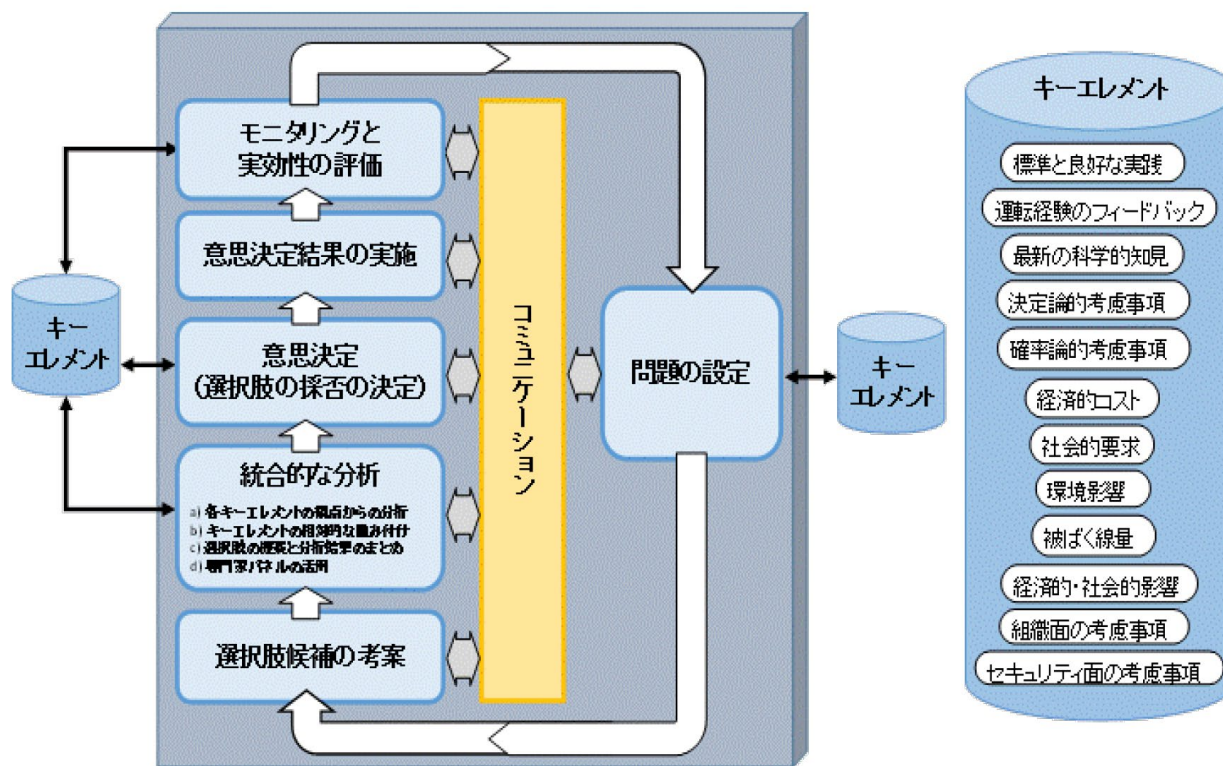
標準利用促進の枠組みはあるか？ ⇒ なければ利活用の場の創生が必要

リスク情報活用に期待するものがあるか？ ⇒ 現状のニーズがなければ無用

総合的リスク情報活用意思決定 (IRIDM) プロセスの視点で

「標準」はキーエレメントのひとつ

IRIDMプロセスにおける「問題の設定」に始まりそのプロセスを回す推進力は？



IRIDM プロセス